

風藤蔓

りて、うちかざしたるぞ、いとおかしうおぼへたる、

〔多識編^二蔓草^一〕南藤。或曰久知久佐誤也、異名丁公寄^{別錄}。

〔和爾雅^七草木^一〕南藤^{丁公藤}、風藤^{並同}。

〔和漢三才圖會^{九十六}〕南藤^{石南藤}。風藤。石南藤。丁父。丁公藤。丁公寄。俗云風藤蔓^略。中

按南藤能治諸風、故有風藤之名乎、今痿痺癱瘓人用爲洗藥^{痘後手足腫痛者、用}、風藤煎汁^{類洗有効}。

〔物類品隲^三〕南藤。一名風藤。一名石南藤。和名フウドウカヅラ。紀伊湯淺橋本仙室曰、先輩南藤ヲ

ツルウメモドキトスルハ非ナリ、形狀本草ニ合ズ、フウドウカヅラ眞ノ南藤ナリ、蘇頌曰、南藤生

南山山谷、今泉州榮州有之、生依南木如馬鞭有節、紫褐色、葉如杏葉而尖、采無時、又曰、天台石南藤四

時不凋ト、此說ツルウメモドキノ形狀ニアラズ、フウドウカヅラニ近シト、此說是ナリ、此物紀伊

伊豆ニ甚多シ、土人皆フウドウカヅラト呼ブ、愚^源○^{平賀}謂ラク、本邦往昔藥物ヲ以テ國國ヨリ貢

上ス、當時能此物ノ風藤タルコトヲ知テ、其名稱到今民間ニ傳ルカ、或ハ又暗ニ風藤ノ名和漢同

キカ、

〔重修本草綱目啓蒙^{十五}〕南藤。詳ナラズ。一名鬼目^{壽世}。

ツルムメモドキ、又フウトウカヅラニ充ル說ハ皆穩ナラズ、^略○^中

増南藤一名風藤、和俗フウトウカヅラト呼ブ、土萋藤ト同名ナリ、^略○^中 外科正宗藥品異名考ニ云、

此草熊野山中ノ者ハ長サ數十丈、山巖喬木上ニ延蔓シ、莖ノ巨サ一虎口餘、二三寸毎ニ節アリテ

馬鞭ノ如シ、一莖一葉形杏葉ニ似テ厚シ、又細葉モアリ、皆切テ辛辣ノ氣アリ、其莖ノ樹石ニツク

處小瘤アリ、中ニ小孔アリ、夏月葉間ニ小黃花穂ヲナシ、後小赤實ヲ結ブ、味微シ辛シ、四時萎マズ、

コノ形狀本綱ノ說ト的當ス、小野蘭山翁ノ說ニ、此草ヲ土萋藤ニ充テ、南藤ハ和産詳ナラズト云

ヘリ、コレ南藤ハ暖地ノ産ニシテ、熊野山中ニ生ル如キ、大蔓ノモノヲ目撃セザル故ニ誤ルナリ、